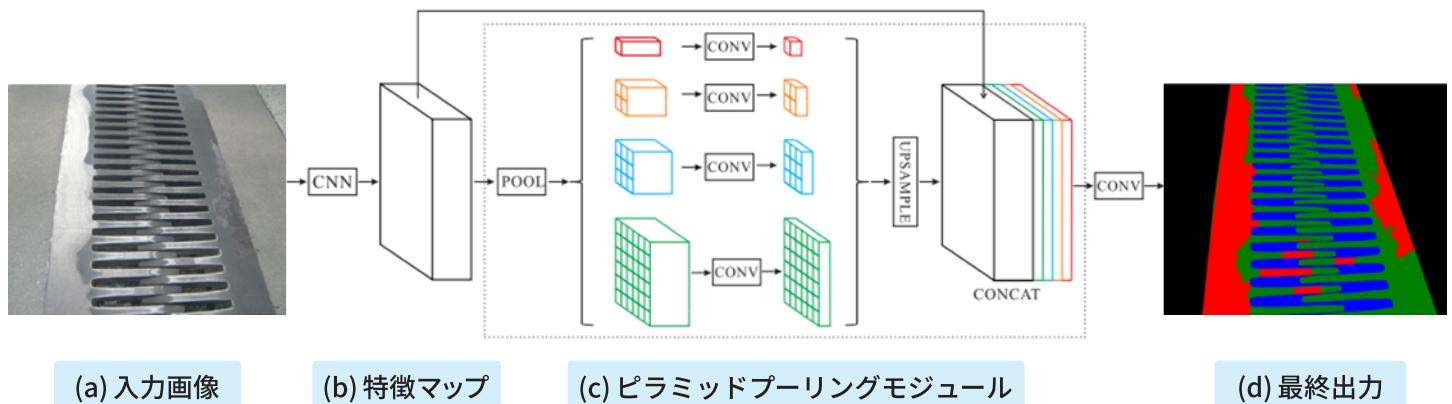


表面状態を色彩で分類する技術 (セマンティックセグメンテーション)

画像内のピクセル（画素）一つひとつに対して、それが何であるかを示す意味的なラベルやカテゴリを割り当てる画像認識技術です。

- ▶ 点検人員の減少や高齢化が進む中で、AIの活用により撮影画像枚数の増加に対応することができます。
- ▶ 撮影した点検画像をアップロードするだけで、AIが自動で分類・集計を実行します。

●損傷セグメンテーション例



※出力結果では、赤＝損傷、緑＝非損傷、青＝隙間、黒＝背景で塗り分けられます。

□本技術の特徴

- ① 見逃し防止…微細な損傷もAIがピクセル単位で検出。
- ② 点検の効率化…写真を投入するだけで、自動分類・定量評価が可能。
- ③ 経年劣化の可視化…同一箇所の画像を比較し、損傷面積の変化を数値化して把握。

●活用シーン

▶近接目視点検の補助

見落としや点検員による技量差を補完できます。

▶過去写真の再活用

損傷を自動分類・数値化できます。

▶補修計画の優先度判断

面積データをもとに合理的に判断できます。

